

上昇気流



令和3年

5月14日(金)

【No. 7】

『“願い事”で終わらせないために…』

昨日、中間考査が終わりました。今回のテストは、全教科50点満点で30分で実施されました。その分、1日で5教科のテストを行ったわけですが、初めての形式にうまく対応できたでしょうか？学校で行われる定期考査の意味を考えてみると、どの教科でも言えることですが、“授業で学んだことがどの程度定着したのか”を確かめるために行っているのです。つまり、言い換えてみると、『試験の結果＝授業の集中度』となるかもしれません…。今回の試験は、1年生の3月に学んだことと、2年生の4月からこれまでに学んだことの中から出題されました。前に学習したことは忘れがちですが、そうならないために必要なのは「復習」です。今日から、テスト結果が返ってきますが、点数だけ見て一喜一憂してはいけません。“間違えた問題はどうすれば正解できたのか？”“分からなかった問題はいつ学んだ内容だったのか？”、そういう視点で振り返りを行ってみましょう。さらに、もっと大きな視点として、「授業の集中度」はどうだったのか、「復習」はきちんと行っていたのか、この問いかけを自分自身で行ってください。



200以上の国と地域の言葉に翻訳されている、世界のベストセラー「星の王子さま」の作者サン＝テグジュペリが、こんな言葉を残しています。

『計画のない目標は、ただの願い事に過ぎない』

今までに行われた定期考査では、みなさんは様々な目標を立ててきたことと思います。今回のテスト前にも、きっとそれぞれの目標を立てましたね。それでは、振り返ってみてください。その目標を達成するために、“具体的に何をしたのか？”ということをお話します。

「5教科平均〇点以上をとる」「数学で満点をとる」…、そのように目標を掲げたなら、それを達成するために、具体的にどんな取組をするかを考え、しかもそれをきちんと実践しなければ意味がない、ということなのです。何も取組をしないで、目標だけを口にしていただけでは、「5教科平均〇点以上をとれたら嬉しいな…」「数学で満点をとれたら幸せだな…」という、ただの“願い事”にしかならないのですね！

2年生1回目の定期考査は終わってしまいました。このあと、一つ一つの結果をきちんと振り返った上で、次の期末考査に向けて、「自分の目標を達成するために、具体的に何をしていくのか」、このことをしっかりと考えていきましょう。奮起を期待しています！

◎「期末考査は、6月21日からじゃ！おやおや、あと1か月しかないぞよ…」

『有効に活用しましょう！』

ゴールデンウィーク前に、西東京市から市内の全小中学生に、学習用の「タブレット」が配布されました。早速、家庭に持ち帰って、いろいろと利用してみた人もいるようです。また、学校では、授業や学級活動で試験的に使用しているところです。先生たちも様々な研修を重ねながら、この「タブレット」をどのように活用していけばよいのかを検討しています。



ところで、この「タブレット」を配布するとき、その扱い方については、様々な解説や注意事項について、「説明書」を読み合わせしながら確認しました。これはかなり高価なものですし、みなさんの卒業時には学校に返却し、次に入学してくる新入生に貸し出すこととなります。ですから、大切に扱ってほしいと思っています。

基本的なことですが、この「タブレット」を導入するためには、西東京市では膨大な経費がかかったはずですが、しかし、現在の新型コロナウイルスの感染状況を考えると、いつ何時、小中学校でも感染者が多発し、学校が休業に追い込まれる可能性も否定できません。そんな場合、この「タブレット」を活用できれば、家庭にいても学校とつながることができるので、学習が停滞する心配はないのです。

もちろん、利用価値はそれだけではありません。普段の学校生活の中でも、様々な場面で活用するチャンスがあるのです。各教科の授業の中で利用するのはもちろんのこと、宿題や家庭学習（復習）にも使えます。また、校外学習などの行事では、事前学習に利用したり、経路や経費、所要時間などを調べるときにも役立ちそうです。こうして考えてみると、「タブレット」が導入されたおかげで、今までより学習効果が上がったり、学校生活をより充実させていくことができるはずです。

しかし、そんな便利な「タブレット」ですが、使い方を誤ればマイナスの影響も考えられます。例えば、学習に関係のないことに使ってしまう、使用時間を守らずに他の活動がおろそかになる、友達とのやり取りの中でトラブルになる、夜遅くまで使用して翌日の生活に影響する…など、考えるとたくさん上がります。そんなことになっては、せっかくの便利な道具も、“無用の産物”となってしまいます。ですから、みなさんは、決められたルールをしっかりと守って、自分にとって有効に活用していきましょう。

裏面に、【タブレット・Wi-Fiルーターを使用するときの注意事項】を載せました。このきまりを確認して、「タブレット」を正しく利用していきましょう！

【保護者の皆様へ】

四度目の緊急事態宣言が延長され、制限の多い生活が続いております。感染力がより強力と言われている変異株の影響も懸念される中ですが、学校では生徒の安全第一を考えて、慎重に活動を継続していきます。そんな中、5月21日（金）に予定されていた『2学年校外学習』ですが、残念ながら延期が決定しました。今後の予定については、次の計画が決まり次第、報告させていただきます。なお、その関係で、2年生は21日は給食が用意されておらず、お弁当持参となりますので、よろしくお願いいたします。

㊦ 裏面の【タブレット使用の注意事項】は、保護者の方々もぜひご覧ください。

【タブレット・Wi-Fi ルーターを使用するときの注意事項】

授業の先生が許可したときのみ、使用しましょう。

＜学校での使用・置き場所などについて＞

- 1 授業に関係のない操作はやめましょう。
- 2 朝読書（朝自習）や休み時間中の使用はやめましょう。
- 3 教室移動でタブレットを使うときは、Wi-Fi ルーターを班長が管理して持って行きましょう。
- 4 指定された Wi-Fi に接続されているか確認しましょう。
(少人数授業や特別教室での授業で、接続過多を防ぎます。)
- 5 タブレットを学校で管理するときは、後ろのロッカーで管理しましょう。破損を防ぐため、机の中や手提げカバン等で机の横でぶらさげることもやめましょう。
- 6 常に学校には充電されたタブレットを用意しましょう。

＜自宅での使用・充電について＞

- 1 自宅で使用する際も、学習に関係のないことで使用することはやめましょう。
- 2 充電量を確認し、充電が少ないようであれば家庭で充電をしてきましょう（充電量 50%が目安です）。